

地区の役員向けに
学習会をしたいけど
どんなことをしようか…

みんなで地域の
福祉について考える機会を
持ちたい

学校の授業や
委員会で、地域の方と
交流してみたい

知って、体験して、考えて

みんなでつくる 「ふくし」

～出前福祉講座のご案内～

社協職員が
出向きます

茅野市社協では、「福祉」を「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」とお伝えしています。

「福祉」と聞くと、高齢者や障害の方をイメージする人が多いかもしれません。「ふくし」を考えることは、自分や周りの人の幸せを考えることでもあります。

住んでいるからこそ感じる地域の「いいところ」や「気になるところ」 あなたの地域はどうですか？

少子高齢化により
地域や社会の担い手が
減っている

出払いや雪かきが
大変な方がいる

元気な子どもたちが
いっぱい！
気持ちのいいあいさつを
してくれる

住民同士の交流が
少なくなった

伝統や行事を
大切にしている

災害が起きたとき
どこにどうやって
避難しよう？

近くにお店がなく
買い物に行くのが
大変

ひとり暮らしの方が
増えてきている

昔ながらの地域の
つながりが強い

心配なこともあるけれど…
やっぱり
住み慣れた家、地域で
暮らし続けたい！



10年後、20年後も、住み慣れた地域で暮らしていくためには、どんな自分、どんな地域になっていけばいいでしょうか。

地域みなさんが、さまざまな関係団体とともに、「ふくし」を考えることは、住み慣れた地域での暮らしにつながります。

「ふくし～**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ～」について、みなさんで考えてみませんか。ぜひいっしょに取り組みましょう！

裏面もご覧ください

誰もが暮らしやすい地域を考えよう

- ・高齢になったときの体の変化を知る
- ・障害や認知症について学ぶ
- ・地域で活躍する高齢者・障害者の方の話を聴く
- ・地域懇談会～地域のことをみんなで話し合う場～を開く
- ・みんなが暮らしやすい地域にするにはどうすればいいか考える



住民同士で、地域の話をする事で新しい気づきがあるかもしれません
気づきは、だれもが暮らしやすいまちづくりにつながるかも！



防災についてみんなで考えよう

- ・防災に関する研修会を開く
 - *地図上で危険個所の確認・日頃からの支え合いについてなど
- ・HUG(避難所運営ゲーム)を体験する
 - *机で行う体験型のシュミレーションゲームです。避難所を運営する立場の人になってさまざまな問題にどう対応するかみんなで考えます
- ・目黒巻きを体験する
 - *災害時の状況を自分自身の問題として想像し書き出すことで、具体的な備えや対策を考えることができます

地域のつながりは大きな防災力になります



「あったらいいな」を形に！ 地域で活動を始めよう

高齢者のサロン活動、体操の会、子ども食堂、世代間の交流、ゴミ捨てなどのお助け隊…地域に「こんな集まりや活動があったらいいな」と思うことはありませんか？

仲間とついに、できる形で、実現に向けて考えてみましょう

社協が、みなさんとついに考えます！



お貸しできる備品

JINRIKI

- ・車いすに装着し、車いすの方をより安全に介助できるようにする器具です
- ・地域の防災訓練でもお使いいただけます。



パラスポーツ体験

- ・ゴールボール
- ・サウンドテーブルテニス
- ★子どもから大人まで楽しみながら体験できます
- ★子ども会や育成会の行事等でも活用していただけます



疑似体験セット

- ・高齢者疑似体験セット
- ・視覚障害体験用サングラス



DVD(1本約30分)

「視覚障害」「認知症」「車いす」などをテーマにしたもの



茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ
茅野市社会福祉協議会
ボランティアまちづくりセンター
(担当：武澤・吉瀧)
電話：0266-73-4431
メール：support@sharara.or.jp